

2020年9月1日

会 員 各位
関係者 各位

食農資源経済学会
会長 磯田 宏

2020年度 食農資源経済学会 第14回大会（沖縄大会）のご案内

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2020年度食農資源経済学会第14回大会（沖縄大会）ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現地での大会開催からオンライン・ミーティングへと変更し、下記の通り開催いたします。オンライン大会へと変更となり、ご不便をおかけいたしますが、今大会は参加費無料となっております。多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【1】日 程

10月31日〔土〕	◇学会誌編集委員会	9:00～10:00
	◇理事会	10:00～
	◇報告討論会	13:00～17:00
11月 1日〔日〕	◇研究報告会	9:00～16:00（予定）

【2】実施・参加方法

○報告討論会：YouTube Live を通じた配信

- ・参加者には、YouTube を通じて報告討論会をリアルタイムでご視聴いただけます。
- ・会員は Google フォームを通じて報告者に対して質問を行うことができますが、非会員の方は質問を行うことができません。
- ・参加申込者に対して、視聴用 YouTube Live のリンク、質問用 Google フォームのリンクおよび大会資料集ダウンロードサイトのリンクなどを、メールで事前に送信いたします。

○研究報告会：Zoom を利用したオンライン・ミーティング

- ・参加者には、Zoom で研究報告をご視聴いただけます。
- ・報告者に対して質問を行うことも可能です。
- ・参加申込者に対して、参加用 Zoom のリンク（ID やパスワード）、Zoom の操作マニュアルおよび大会資料集ダウンロードサイトのリンクなどを、メールで事前に送信いたします。

※詳細は随時、参加申込時にご登録いただいたメールアドレスを通してご連絡いたします。

【3】報告討論会

共通テーマ 『メガEPA発効下における肉用牛の展開と課題』

13:00～13:05 学会長挨拶 磯田 宏（九州大学）

13:05～13:20 座長解題 山本直之（宮崎大学）・西 和盛（宮崎大学）

報告討論会のねらい

近年、子牛価格の高騰により、繁殖牛経営では高収益を実現している経営もあるが、輸入飼料価格の高止まりとも相まって肥育牛経営では厳しい経営を強いられてきた。このような状況の下で、日欧EPA、TPP11、日米貿易協定などが相次いで発効し、和牛などの輸出拡大が期待される一方で、安価な牛肉の輸入が増加し、国産の需要減少や価格低下が懸念される事態となっている。そこで、肉用牛を取り巻く状況を明らかにし、今後の展開と課題を検討する。

報告討論会各報告時間

13:20～13:50 第1報告「肉用牛経営における生産面の課題と対応」

－繁殖部門を中心として－

井上憲一（島根大学）

13:50～14:20 第2報告「牛肉における流通・販売上の課題と対応」

－国産牛肉に注目して－

細野賢治（広島大学）

14:20～14:50 第3報告「わが国の牛肉需要構造と牛マルキンの関税削減影響緩和効果」

高橋昂也（九州大学）

14:50～15:20 第4報告「宮崎県における肉用牛生産振興の取組」

佐藤博士（宮崎県畜産振興課）

15:20～15:30 休憩

15:30～16:00 コメント（2人・各15分）

第1コメンテーター： 宮田剛志（高崎経済大学）

第2コメンテーター： 豊 智行（鹿児島大学）

16:00～17:00 討論

【4】総会

オンライン大会への変更にともない、総会は大会とは別に後日、郵送書面にて開催いたします。
資料は大会終了後、できるだけ速やかに郵送いたしますので、同封ハガキにて承認の可否や質問を回答願います。

【5】大会参加の申込み

大会（報告討論会・研究報告会）参加希望者は、10月10日[土]までに、下記 URL の Google フォームより、参加申し込みを行ってください。

大会参加申込み URL 【<https://forms.gle/rdHjiA6CW9NUZi3u5>】

学会 HP のトップページにある「トピックス」にも大会情報を掲載しており、そこからでも上記の大会参加申込み URL にアクセスできますので、ご利用ください。

参加申し込み後、登録いただいたメールアドレスに、受付をお知らせするメールが届きます。必ず確認し、届かない場合は学会事務局までご連絡ください。

また、Google フォームにアクセスできない方は、件名を「大会参加申込み・氏名」として、下記アドレスまでメールをご送信ください。その際、報告討論会と研究報告会の片方に参加するか、両方に参加するかについてもお知らせください（事務処理の都合上、可能な限り Google フォームによる参加申し込みにご協力ください）。

Google フォームが使用できない場合の参加申込み先：

食農資源経済学会事務局 高橋昂也

E-Mail : shokunoshigen2020@gmail.com

【6】研究報告の申込み⇒締切期限延長

報告希望者は、~~9月30日[水]~~ **10月11日[日] 23時59分**まで必着にて、報告要旨1ページ分（「研究報告要旨作成要領」参照）のデータファイル（Microsoft Word）を電子メールに添付し、メールの件名を「研究報告申込み・氏名」として下記の学会事務局宛に送信してください。

なお、研究報告会での発表を希望される未入会の方は、申込締切までに、入会申請手続きと年会費（2020年8月1日～2021年7月31日分）の支払いを行ってください。

報告時間は15～20分の予定です。報告順、時間等については追って学会HPに掲載いたします。

研究報告要旨送付先：食農資源経済学会事務局 長命 洋佑

E-Mail : jimmu@shokunoshigen.jp

【7】費用等

今大会に限り、参加費は無料です。

【大会についてのお問合せ先】

第14回大会（沖縄大会）についてのお問合せは、以下にお願いいたします。

大会実行委員長：渡久地 朝央（沖縄国際大学）

実行委員会事務局：杉村 泰彦・内藤 重之（琉球大学）

Tel. 098-895-8776（杉村）、098-895-8772（内藤）

E-mail: sugimura@agr.u-ryukyu.ac.jp（杉村）、naitoh@agr.u-ryukyu.ac.jp（内藤）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学農学部

以上

研究報告要旨作成要領

1. 書式

- 1) A4判横書き。横 35 文字×縦 32 行以内（800 字程度）とする。
- 2) 見本にあるように上下、左右にそれぞれ必要な余白を取る。

2. 構成

1) 1 枚目の用紙

- 第 1 行 題目<行の中央に置く＝センタリング>
 第 2 行 空白<但し、副題がある場合はハイフンで閉じる－副題－>
 第 3 行 氏名（所属）<行の中央に置く＝センタリング>
 第 4 行 空白
 第 5 行 本文



- 2) 題目が 2 行以上にわたる場合や副題がつく場合は、第 2 行以下を繰り下げる。
 その場合、印字範囲の枠をはみ出さないよう本文の行を削る。

3. 設定

用紙のサイズ	A4	上端マージン	30 ミリ
紙の置き方	縦書き	下段マージン	30 ミリ
1 行文字数	35 文字	左端マージン	30 ミリ
1 ページ行数	32 行	右端マージン	30 ミリ
文字方向	横書き	ページ番号	付けない
フォント	MS 明朝 (題目は MS ゴシック)	フォントサイズ	12 ポイント

見本：用紙は A4 判（外枠を A4 判用紙と見立て下さい。）

